

# 地震ト山地ノ崩壊トニ就イテ

臨時委員 諸 戸 北 郎

余ハ昨年八月一日ノ大震災以來四回神奈川縣ニ出張シテ山地崩壊ノ狀況ヲ調査セリ。

次ニ其要點ヲ列記セン。

第一 神奈川縣下林野荒地ノ面積ハ略次ノ如シ。

所有別	全面積	崩壊面積	百分率	
御料林	二一、八六三	二、七五〇	一二、六	荒廢林野ハ五
公有社寺有林	三四、二二四	二、五〇〇	七、三	郡二十四ヶ町
私有林	六四、一二四	三、〇〇〇	四、七	村ニ亘ル
計	一二〇、二二一	八、二五〇		

第二 崩壊地ハ傾斜急ナル處ニ多ク傾斜三十度以下ノ處ニハ殆ンド無シ。

第三、崩壊地ハ低處ヨリ高處ニ多ク特ニ峯筋ハ芝草剝離シテ宛モ篩ニ掛ケタル如キ状態ヲ呈ス故ニ高處ハ震動激甚ナリシコトヲ知ルヲ得ベシ。

第四、崩壊地ハ北面ノ山腹ニ最モ少シ但シ場所ニ依リ北東面ノ山腹ニ多キ處アリ。

第百號乙 地震ト山地ノ崩壊トニ就イテ

第五 崩壊地ハ幼年ノ造林地及伐採跡地ニ多ク老壯齡ノ天然林ニ少シ即チ造林地及伐採跡地ニハ三割乃至七割天然林ニハ二割以下ナリ。

第六 崩壊地ノ多クハ九月一日ノ地震ニ因リ龜裂ヲ生ジ其後ノ雨ニ因テ崩落シタルモノナリ。

第七 地震ニ因ル崩壊地ハ峯及山腹ノ凸出部ニ多ク水害ニ因ル崩壊地ハ山腹ノ凹地ニ多シ。

第八 山腹ニ龜裂ヲ生ゼル部分及滑落シテ中腹ニ止マルモノガ今後ノ大雨ニ因リ崩落スル虞アリ。

第九 崩落セル土砂石礫ハ溪川ニ堆積シ或ハ流材ニテ本溪ヲ堰止メ之レニ土砂堆積シ溪底ヲ二三丈高メタル處アリ。

第十 中郡大山町及足柄下郡根府川村ノ如キハ以前山潮ノ害ヲ受ケシ場所ニ存在スルヲ以テ今回ノ如キ慘害ヲ受ケシナリ、現在ノ位置ニテ復舊セバ將來再ビ此ノ如キ慘害アルコトハ豫期セザル可カラズ故ニ他ニ移轉スルヲ得策トス。

第十一 根府川ノ河口右岸ニ寺院ノ院アリ、此寺院ハ昔ニ此處ニ今回ノ如キ慘害アリテ多數ノ慘死者アリシヲ以テ宛モ其供養ノ爲メニ東京兩國同向院ノ如ク建立サレシモノナル可シ。